

# ごみを減らしましょう

処理には多額の税金が使われます

## ■ごみ処理費用トップ5（平成30年度）

可燃ごみの焼却処分	2億2,200万円
資源とごみの収集	9,500万円
県外処理施設への運搬	7,900万円
可燃ごみの積替え	7,000万円
資源ごみの中間処理処分	5,700万円

町のごみ処理費は、なんと年間  
**5億7,800万円!**



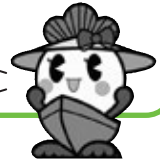
ごみを減量すれば、処理経費が削減でき、バスや防災対策など他の事業にお金を使うことができるよ

## ごみ減量・環境配慮・経費削減のため 今すぐ始めよう!

資源化(リサイクル)は、ごみを単純処理するより費用がかかります。発生抑制(リデュース)と再利用(リユース)を優先的に始めましょう!

- ・マイバック、マイバスケットを持参する
- ・最後まで使い切る
- ・使い捨て商品は買わない
- ・詰め替え商品を利用する
- ・フリーマーケットを利用する

生ごみの水切りも忘れずに!



## ■家庭系燃えるごみの出し方

- ・午前7時から8時までに、各町内会の決められた集積所へ出しましょう。
- ・透明または半透明の袋に「家庭用ごみ処理券」を貼り付けて出しましょう。
- ・ごみ処理券が不足した時は、役場、松枝公民館、総合会館で配布しています。



環境経済課 ☎388-1114

# ちょっと実行 ずっと健康 みんなのヘルスケア

## がん検診を受けましょう!

がんは、今や私たちの身近な病気です。がんで死亡する確率は、男性が4人に1人、女性が7人に1人であり、平成29年度に笠松町で死亡された人のうち、4人に1人はがんで亡くなっています。

部位別罹患数を見てみると、男性は胃がん、女性は乳がんが多く、がんの罹患年齢は男女ともに50歳代から増加し、年齢を重ねるごとに高くなります。

がんはかつて不治の病と言われてきましたが、現在は医学の発展に伴い、がんと診断されても早期の段階で治療を開始できれば、生存率が高いがんも多くあります。また、早期発見・早期治療により、今までと変わらない生活を送ることができます。

早期発見のためには、定期的ながん検診を受けることが重要です。笠松町の過去5年間

のがん検診で、85人のがんが発見されました。健康な生活を送るために、「自分には関係ない」と思うのではなく、まずは検診を受けることから始めましょう。皆さんのお申込みをお待ちしています。

## ～がん体験者からのメッセージ～

地域の集団検診を受診し、がんが発見されました。悲しみに暮れる家族の姿を見て、自分がしっかりしないと!という気持ちになりました。しかし、実際に治療が始まると、毎日の生活が辛く、逃げ出したくなるほどでした。

辛い入院生活の中、友人や仕事仲間、家族の言葉に支えられ、なんとか退院を迎えることができました。

元気なうちは、「自分には関係ない」と思っていたがん検診でしたが、あの時検診を受けていて良かったと思います。がんの治療は辛く大変なものでしたが、生きていること、食事ができることの幸せを実感しています。

自分のためにも、大切な人のためにも、まずは検診を受けることから始めてほしいです。

健康介護課 ☎388-7171